

水戸地方気象台長からのメッセージ

水戸地方気象台ホームページにお立ち寄りいただき、ありがとうございます。

台長の五味 孝夫（ごみ たかお）です。

水戸地方気象台は、明治 29 年 12 月 16 日に水戸測候所として創立され翌年 1 月 1 日より気象業務を開始して以来、127 年にわたり同じ場所で業務を続けています。

庁舎の一部は堀口捨己の設計により昭和 10 年に建築されたもので、その後改修が行われていますが、その水平・垂直要素の対比的な建物は一般社団法人「DOCOMOMO Japan」より「日本におけるモダン・ムーブメントの建築 264 選」にも選定されています。

水戸地方気象台が受け持つ茨城県は関東地方の北東部に位置し太平洋岸気候区に属しており、冬は晴天が多く乾燥し梅雨期や秋霖期の雨量は多いという特徴があります。平地が多く農業をはじめ漁業、工業、科学技術、文化など多様な業種が盛んで、自然豊かな地に文化遺産が各地に遺されています。

一方で、県内においても幾度となく気象災害や地震災害が発生し、近年では、令和元年東日本台風、平成 27 年 9 月関東・東北豪雨、平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震により被害を受けています。豪雨災害が激甚化・頻発化し、全国各地で毎年のように甚大な被害が発生している状況や、令和 6 年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震による被害状況を目の当たりにすると、改めて災害に対する備えの重要性を感じます。

水戸地方気象台ではこのような自然災害による被害から皆様をお守りするため、正確な防災気象情報を発信するとともに、職員一丸となって県、市町村や関係機関等と連携して地域の防災力の向上のため普及啓発などの取り組みを行っています。

このホームページからは気象台が発信する様々な防災気象情報がご覧いただけます。大雨による災害発生の危険度の高まりを示した「キキクル」など、大切な命を守るための情報を日ごろからご覧いただき、いざというときの適切な避難行動にご活用いただきますようお願いいたします。

水戸地方気象台が地域の皆様から信頼される組織であり続けるよう、引き続き取り組みを進めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



令和 6 年 4 月 水戸地方気象台長 五味 孝夫